

共同利用型充電サービスの社会実装に向けた実証事業への沼津市参加

本市は、東京電力ホールディングス株式会社が沼津郵便局で実施する実証事業「電動商用車を活用した物流 MaaS の実現に向けた研究開発・実証事業」に参加している。

この実証事業は、周辺地域の特定企業・団体で、1つの充電器を共同利用するという電気自動車充電の新たな選択肢についての実証事業である。一般のEV利用者にも開放することで、今後の電気自動車（EV）導入推進にあたり、実際にEVを利用した業務や充電環境整備が困難な場合における事業所外での充電利用のイメージを持つことに役立てるために、課題の洗い出し及び解決の方向性を明らかにすることを目的に実施している。また、使用する電力を再生可能エネルギーとすることで温室効果ガスの排出削減、脱炭素化に寄与するものであると期待している。

【実証期間】

令和3年11月1日～令和4年1月末頃まで

【実証事業の概要】

法人（地方自治体を含む）ユーザーを対象に、「共同利用型充電サービス」を提供し、先行的なEV普及と充電インフラ整備を一体的に進めるとともに、横展開が可能なモデルの構築を目指す。

充電サービスには時間帯別料金（ダイナミックプライシング含む）に加え100%再生可能エネルギーによるカーボンフリー充電を取り入れる検証を行っている。

- ・充電は当該充電器のみ（遠出や緊急時の場合は除く）を利用し、充電サービス料金は参加者が負担。
- ・共同利用にあたっては、事前に平均走行距離や希望時間帯等を勘案し、充電時間スケジュールを設定。各参加者用にあらかじめ設定された「占有時間」以外の時間帯は、空いている時間をアプリで予約、充電可。

■ 急速充電器設置場所

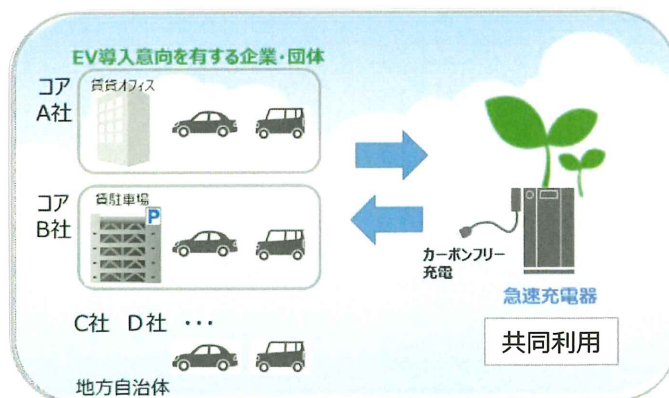
沼津郵便局北側敷地
（静岡県沼津市寿町1-25）

■ 実証事業参加者（13団体）

周辺地域の企業12社、1地方自治体

■ 利用する電気自動車（貸与／所有）

日産：リーフ
三菱：ミニキャブミープ
合計30台程度
※沼津市は3台で参加



【特定ユーザーによる急速充電器シェアモデルの構築】

作成：東京電力ホールディングス株式会社 EV推進室